

公民館だより

ひがしの

No.123
2011. 11. 15

H23
人口 1800 人
(男) 868 人
(女) 932 人
世帯数 609 戸
(H23.11.1 現在)



薔薇園

茂夫画

水墨画による「薔薇」

楽しい墨絵の会 吉村茂夫 画

東野文化祭

11月3日、4日、5日

主催：東野文化祭実行委員会

11月3、4、5日の3日間東野コミュニティセンターで東野文化祭が行なわれました。好天に恵まれた3日間。展示作品の鑑賞をはじめ、お楽しみコーナーや即売会場で談笑するなど賑わいました。また、午後から東野小学校体育館で行なわれた「東野ふれあい音楽祭」では300人余りが高橋誠アコースティックバンドの軽快な音楽を楽しみました。今年は東野小学校5・6年生と母親コーラスも加わり、楽しい音楽祭となりました。

4日は展示のみ。最終日の5日には展示と即売が行なわれました。この3日間で350人ほどの来館者があり、大盛況でした。のうちに今年度の東野文化祭は終了しました。



◆主催：東野文化祭実行委員会

◆実行委員長：伊藤年明
(開発振興会理事)

副委員長：土方浩充、林源幸

◆展示

絵画、書道、水墨画、写真、生け花、籐編み、七宝焼、レカンフラワー、クラフト、盆栽、吊るし雛、幼稚園児および保護者作品、小学生の作品、その他

400点余りを展示しました。

<特別展>

東野わがふるさと

—吉村茂夫氏の絵画と心に残る思い出—

◆お楽しみコーナー

即売

パンジー、ビオラ、葉牡丹、シクラメン、観葉植物、憩いの場：コーヒー、ジュース、ラムネ

◆協力出店

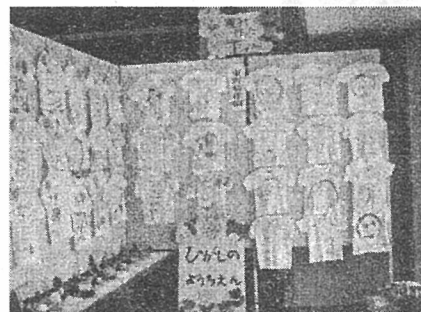
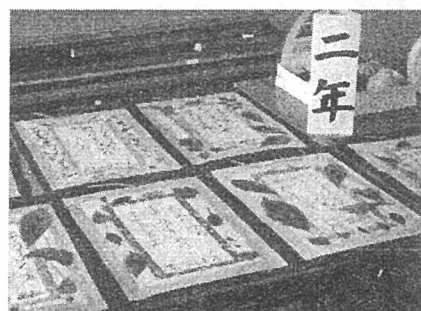
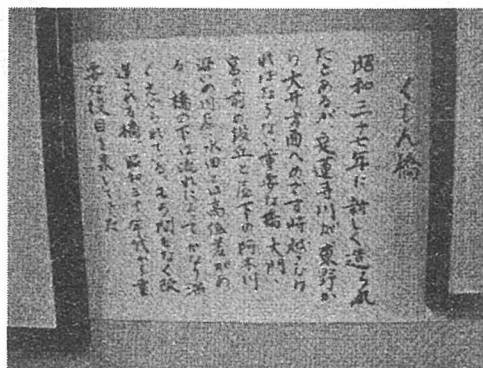
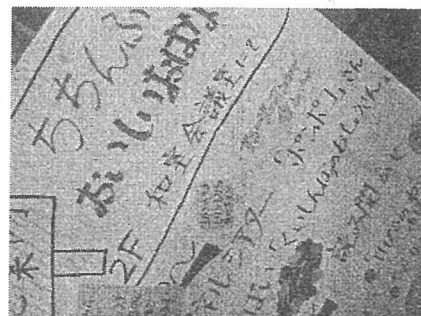
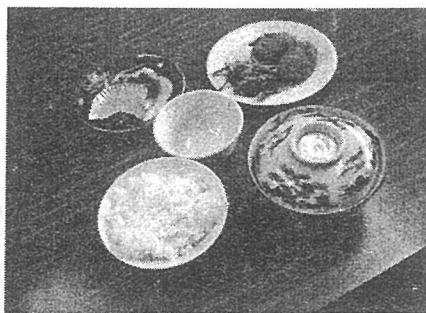
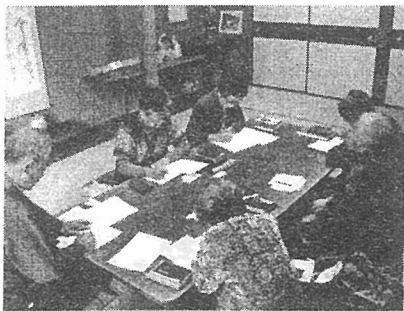
小林ロクロ（木工製品）、原商店（日常雑貨）、春日商事（陶器）、光岡（錦鯉）、フレンドリー（揚げ餅、せんべい他）、虹の会（餅つき）

◆スタッフ

（文化祭実行委員会、協力委員）

・開発振興会理事・自治連合会（上下代表、女性代表）・東野小学校・東野幼稚園・青少年育成会・東雲会・歌舞伎保存会代表・東茶会・虹の会・旬菜料理・生け花・写真・菊花・油絵同好会・七宝焼・楽しい墨絵の会・籐編みの会・花無山句会・すくすくクラブ・レカンフラワー・あすなろ会・クラフトテーブル・読み聞かせ・まちづくり委員会（代表）・東野振興事務所・東野公民館・自主的協力者他多数



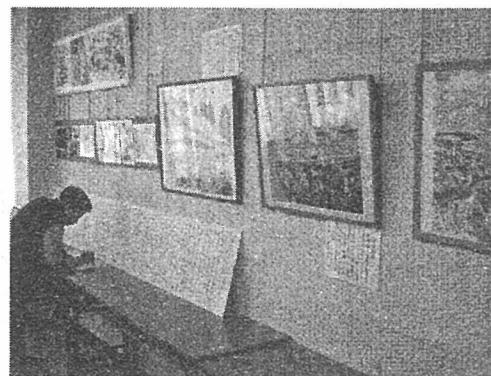


特別展

東野わがふるさと

—吉村茂夫氏の絵画と心に残る思い出—

「恵東座」と「旧東野小学校木造校舎」の思い出をテーマに、吉村先生による絵画と、当時を懐かしむ人たちの言葉を添えて展示しました。絵の周りに集まって談笑する人たちが賑わいました。参観者からは「東野で生まれ育ちました。心温まる企画です、いつまでも残してほしい景色です」、「特に歌舞伎に青年団で練習した事が懐かしく舞台は緊張して足がガタガタしました。」など当時の思い出をそれぞれ語っていました。



東野ふれあい音楽祭

11月3日

東野小学校体育館

東野文化祭の初日11月3日午後から
小学校の体育館で第16回東野ふれあい
音楽祭が「高橋誠アコースティックバ
ンド」を迎えて開かれました。入場者はお
よそ300名。高橋誠さんの演奏は即興
音楽も取り入れたジャズ、ジブ
シー音楽、タンゴ、フラメンコ、
シャンソンなどジャンルにとら
われのないスタイルを持ち味とし
ており、高い演奏技術に引きこ
まれ、会場からはブラボーの声
が飛び出しました。第二部の東野
小学校5・6年生の「風を切つ
て」や、母の親友の「大
な古時計」の合唱も好評で、お
わりに「翼をください」を全員
合唱して今年の音楽祭を閉じま
した。

東野ふれあい音楽祭

東野音楽祭は今年で16年
目を向かえました。この音楽少
年会は、生演奏を聞く機会が
ない当地にあって、子ども
豊かな情緒を育て、また、大
人にとっても新たな感動を
人らしてくる企画として「青
少年育成会義」から提案が
きっかけとなって始まりました。
以来16年間継続し、今日
に至りました。毎年新しい
プロの演奏家を迎え、クラ
シック、ジャズ、ポップスなど
洋楽から日本の伝統音楽や
楽器の紹介を心がけています。
地元東野だけでなく近隣市町
村から多くの皆様をお迎えし
嬉しく思います。

東野小学校の在校生の出演
は第7回以降毎年レギュラー
出演して花を添えてくれてい
ます。

(音楽祭パンフレットより)

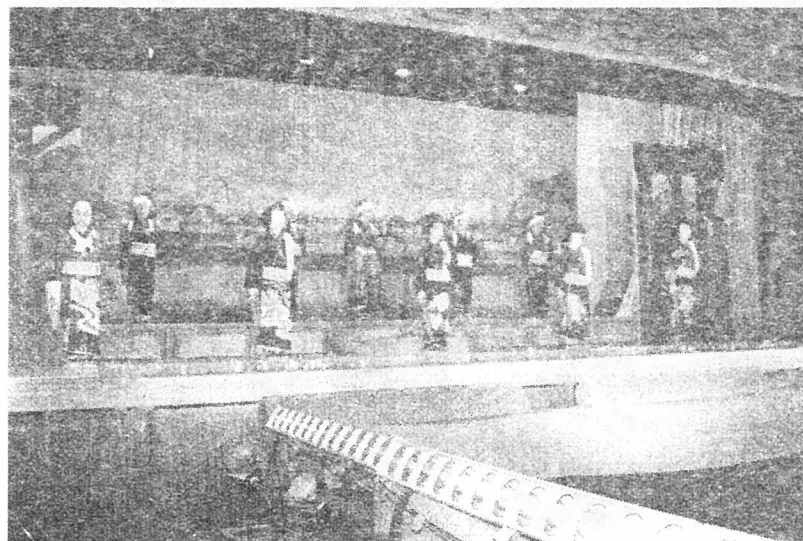


歌舞伎公演

10月23日

伝統の東野歌舞伎公
演が小学校体育館で行
なわれました。会場には
おおよそ200名の歌舞
伎愛好家をはじめ出演
者の家族や友人が押し
かけ、名役者の熱演に大
きな声援とおひねりが
飛び、会場は熱気に包ま
れました。幕間には市民
講座生「さあ歌いまし
う」の皆さんによる合唱
も披露されました。ま
た、会場内では虹の会さ
んによる味ご飯、おでん
やビールの販売も行な
われ、続いた。伝統の東
歌舞伎が継続され公演
できることはすばらし
いこと、誇るべき事と思
います。偏に歌舞伎保存
会や歌舞伎愛好家の
方々の努力に負うところ
が大きい。ありがとう
ございます。

- ☆二人三番 大井文楽
- ☆仮名手本忠臣蔵 七段目
- ☆祇園一力茶屋の場
- ☆白破五人男
- ☆東野小学校歌舞伎クラブ
- ☆毒曾我対面 工藤館の場
- ☆お目見えだんまり



地域三学東野委員会

9月27日(火)

近江 歴史に学ぶ旅



地域三学東野委員会では、歴史に学ぶ「戦国近江」の心に触れる旅と題して、研修会を開催しました。参加者は午前8時38分、東野コミュニティセンターを出発し、一路近江に向かいました。バスの中では、伊藤秀幸先生の歴史講義を聞き、車窓に戦国武将の夢の跡を追いながらの楽しく有意義な研修旅行となりました。

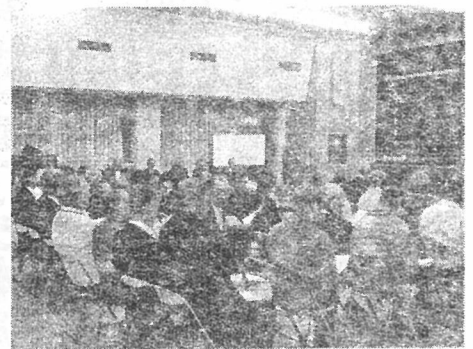


長浜市渡岸寺(向源寺)の十一面観音

東野地域懇談会開催

11月9日

11月9日(水)午後7時



東野地域懇談会が開催され、恵那市からは市長、副市長をはじめ、関係部課長ら12名が出席。地元からは地域協議会の委員ほか総勢80名余りが集まり、東野の課題について懇談しました。

主な議題は次の5点。

- 人口減少対策
- 後継者不足が見込まれる農業の今後
- 恵那山荘と、観光資源としての保古の湖を含む根の上高原一帯の整備
- 行政からの要請で組織された地域委員会等の見直し
- 大雨等による河川の増水時の危険と河川の改修及び河床整備

懇談の様子については、別途地域協議会のニュースとして後日皆さんにお届けいたします。

文芸

○花無山十一月句会

わが里の地歌舞伎自慢し誘へり 市川芳子

主のなき庭に暮色や木守柿 内木伊都子

振り分けに冬瓜の分銅歩きけり 西尾美恵子

山門に園児等の声木の実降る 松本はるか

地歌舞伎の幟はためく峽の里 千藤恵三

○サークル短歌(十一月詠草)

バスケットボールめざして球上げる 鈴木喜一郎

山の無き国を通りて河に出る 少年 少年

果てなしという言葉噛みつつ

歩きつつ秋の七草探しおり 市川茂子

のろのろの大型台風来るといふ 撫子 撫子

マジックないか消えて無くなる

歯軋りか舌打ちをするように 赤尾袈夫

聞える今日のつくつく法師

人里を離れて秋の雲映す 湖の岸辺に由来碑読みおり

表彰あれこれ

◆祝大正百年

第54回恵那市美術展

10月8日～11月3日まで恵那文化センターで恵那市美術展が開かれました。
○日本画 市長賞

・「早春」 依馬英子
○書 教育長賞

・「百人一首」 渡辺泰江
○写真入選

・「敬礼」 渡辺忠明
・「秋の彩り」 伊藤武徳
・「はすに囲まれて」 三宅一嘉

◆第4回恵那市福祉大会

11月2日恵那文化会館で行なわれた第4回恵那市福祉大会において、功労のあった215の個人・団体への表彰がありました。

恵那市社会福祉協議会会長表彰

○社会福祉団体役員功労

土方歌子

○ボランティア活動功労

土方紀代子・渡辺英夫

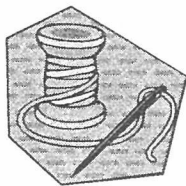
○在宅福祉活動（永年介護）

伊藤政子

恵那市社会福祉協議会会長感謝

○社協大口寄付

丸山文憲 千藤喜久代



◆高齢者作品展

11月11日・12日

恵那市市民会館で開催された恵那市老人クラブ連合会主催の高齢者作品展に東野東雲会員の作品も多数出展されました。その中で賞に輝いた方を紹介します。

●手芸の部
金賞 渡辺由利子
「パッチワーク」

●工芸の部
銅賞 渡辺真好「竹細工」

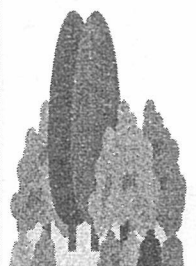
●写真の部
銀賞 伊藤武徳
「祭りだ 祭りだ」

銅賞 渡辺忠明「無題」

東野小学校五年生 間伐・枝打ち体験

花無山で

11月17日、風は冷たいものの晴天に恵まれたこの日、5年生が花無山で間伐・枝打ちをしました。東野生産森林組合の役員さんの案内で行なわれたもので、東野小学校では地域との関わりを充実をめざし、「ふるさと東野」を自慢でき、教育の実践をすすめていきます。



白坂公園 開墾記念碑 豊受大神神社祭典 11月23日

豊受大神神社の祭典が11月23日に執り行われました。毎年勤労感謝の日に行なわれるもので、関係者が集まり秋の豊穰に感謝を捧げました。白坂公園には昭和4年に建立された開墾記念碑と昭和7年に祀られた豊受大神があります。いずれも地元住民が開墾記念と豊かな実りを願って建てたものです。東野地内を見下ろす静かな松林であったこの地も今では朝夕の通勤の自動車がひっきりなしに走る。神様もこの変化に驚かれています。

東野体育協コンナ

本年度の8月以降の行事結果を報告します。

○第7回市民体育大会夏季・秋季大会

本年度は天候に恵まれない行事が多く、やむなく中止となることもありました。そうした中で東野の選手たちはとてもがんばってくれました。

○夏季大会

バドミントン 3位
クレール射撃 3位
アーチェリー 5位

○秋季大会

ゲートボール 3位



東野バドミントンチーム

○第36回東野住民ふれあい体育祭

雨天のため中止

○第38回東野住民ソフトボール大会

雨天のため中止

次に、今後の予定をお知らせします。

○東ノ(東野)ルディックウォーキング講習会

11月26日(土)午前8時30分から受付開始

健康のためスポーツをする方は年々増えていますが、地域善チャイの高齢化や個人の趣向の多様化などで、チームスポーツを中心としてきた住民大会の参加人数も毎年減少傾向にあります。そこで、東野体育協会では住民の方々にいろいろなスポーツ、個人でも取り組めるスポーツを紹介したいと本年度初めて、ノルディックウォーキングの講習会を東野まちづくり委員会教育文化部会を主催者として東雲連合会と共催して実施することといたしました。

ノルディックウォーキングは、もともと冬のスポーツであるノルディックスキー(クロスカントリースキー)のオフシーズンのトレーニング用に取り組まれたのが始まりといわれています。主にノルディックスキーの本場である北欧で盛んに行われていました。トレーニング用ですから歩くだけでなく野山を駆け上ったり、走ったりする過酷なトレーニングとして開発されました。

しかし、近年ポールを持って歩くことの身体的効果が研究され、1997年正式に「ノルディックウォーキング」という言葉で定義されたエクササイズが紹介されました。その後、世界

40カ国以上で普及しています。

恵那市でも最近、公園や街角をポールを持って歩く人を見かけるようになりましした。体育協会では新しいスポーツとして紹介するため講習会を開催します。

つきましては、多くの方の参加をお待ちしています。道具がなくても結構です。気軽に参加してください。最後に、ノルディックウォーキングの効果を健康への提案として紹介します。

○健康への提案(ノルディックウォーキングの効果)

1. 通常のウォーキングより心拍数が約13%上昇する。
2. ポールを使用する事によつて、エネルギー消費量が通常のウォーキングに比べ、平均20%上昇する。
3. 首、肩にかけての痛みやこりを解消する。
4. 首から背中にかけての横方向の柔軟性が向上する。
5. エネルギー消費量が、46%にも上昇したという研究データがある。もつとも活動する筋肉として、伸縮する上腕筋、肩甲骨周辺の筋肉、大胸筋、広背筋があげられる。
6. 一時間あたり400キロカロリーを消費する。(通常のウォーキングでは280キロカロリーの消費)
7. 滑りやすい地面では、ポールが杖となり非常に安全。
8. ペースを一定に保ち、心拍数を120〜150拍分に維持するようにしましょう。体力差、運動習慣にもよりますが、30分から2時間程度の運動を心がけましょう。ペースを一定に保ち、心拍数を120〜150拍分に維持するようにしましょう。

公民館長